

学年	教科	教材名・題材名
6年	社会	災害時にわたしたちができること

教師の働きかけ	児童の反応
<p>自然災害ってどんなのがあったかな。</p> <p>大切なことは</p> <p>今日は、避難所について考えていきましょう。 これは、東日本大震災時の避難場所の写真です。 気が付くことはありますか。</p> <p>土砂災害が起こったとします。 グループが家族です。 後ろのビニールシートが避難所です。 それでは避難してください。</p> <p>通路にはきをつけてください。</p> <p>ご飯を食べる時はどうしますか。 他には、 着がえはどうしますか。</p> <p>そこで、柵をつけてみましょう。 着がえはできそうですか。</p> <p>次は寝てみましょう。どうやって寝ますか。 避難所生活が長いとどう。</p> <p>普段に比べてしんどい思いをしながら生活することになります。</p> <p>災害時にみんなが少しでも安らげるようにするために、わたしたちには何ができるだろう。</p> <p>避難所運営ゲームをはじめます。後ろへ移動しましょう。</p> <p>これから岩城小学校にたくさんの方が避難してきます。避難してくる人を部屋へ配置していきましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・西日本豪雨 断水 ・地震 ・自分の命を守ること ・人が多い ・ぎゅうぎゅうずめ。 ・電気がついていない。 ・寝る。 ・気になる。家族なら気にしない。 ・家族ならできそう。わたしはいやだ。 ・せまい。 ・どうやったら全員が寝れるだろう。 ・腰が痛い。 ・せまい。寒い。 ・ストレスがたまる。

<p>今から2分とるので、場所入れかえてかまいません。どうぞ。</p> <p>ホワイトボードとペンを配るので、気が付いたこと、気を配ったことを考えてみましょう。</p> <p>なぜその場所にした？（A班）</p> <p>なぜその場所にした？（B班）</p> <p>避難所に来る人は、元気な人ばかりではないよ。それもふまえて、避難所で小学校6年生にできることを考えてみよう。ワークシートに書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・車いすの高齢者はどうする。広い場所がいいね。 ・看護師の人はなるべく保健室で。 ・3歳の子どもはどうかな。病気の患者さん。インフルエンザの人はうつらないようにしないと。 ・犬は2階がいいかな。 ・目が不自由な人だ。1階がいいかな。 ・だんなさんと子どもが行方不明になっているから、気を遣わない場所がいいね。 ・認知症の方は体育館がいいかな。 ・コミュニケーションが苦手な人は人が少ない場所のほうがいいかな。 ・子どもは子ども同士でいられる場所があんしんできるんじゃないかな。 ・赤ちゃんと目が不自由な人は一緒じゃないほうがいいと思うよ。 ・体が不自由な人や、具合が悪い人は保健室に連れて行ったよ。 ・お年よりの人や、車いすの人は、なるべく一階の部屋にしたよ。 ・家族はできるだけ一緒に。 ・外国の人は一箇所にまとめた。 ・お腹の調子が悪い人はトイレの近く。 ・健康な人はなるべく体育館。 ・外国人の人同士の方が安心。 ・ペットは鳴き声の問題があるから2階。 ・部屋の振り分けが大変。 ・犬を連れている人は体育館。散歩にいきやすい。・車いすのひとは、すぐ避難できるように出入り口近く。 ・1人であるのが不安な人や、コミュニケーションが苦手な人は図書室で本を読めるように。
--	---

それでは鉛筆おきましよう。それではどのようなことができる？

小学校6年生にもできることはたくさんありますね。

熊本地震のときに、自分にできることを考えて行動した男の子の話をしてします。

トイレの前でやかんをもって、手洗いの手伝いをしていましたね。

避難所を運営している人のお話です。避難所で小学生にしてほしいこと。学校の案内。日頃からやっていることをきちんとする。みんなの笑顔が、避難所の方々に元気を与えることを知ってほしい。

共に助け合う。しんどいときこそ助け合って生きていくことが大切です。

最後に今日の感想を書いてください。

- ・案内ができる。
- ・小さい子どものお世話ができる。遊んだり、本を読んだり。
- ・不安な人に声を掛けて寄り添う。
- ・障がいがある人を優先してあげる。安全な場所への移動など。
- ・元気なあいさつができる。
- ・1人が不安な人と一緒に遊ぶ、お年寄りの人の荷物をもってあげる。
- ・障がいがある人や、犬の散歩の手伝い。
- ・食料の配布の手伝い。
- ・家族と話をしておく。
- ・水くばり
- ・忙しい人の手伝い。

- ・明るい挨拶を避難所でもしたい。
- ・避難してくる人を振り分けることの難しさを感じました。これからもし地震が起こったら、自分にできることを考えたい。